

元・学院長 故・高野晃一主教を偲んで

原田光雄

あれからちょうど一年余。2015年1月20日、日本聖公会大阪教区の第5代主教で、桃山学院の元・学院長、高野晃一主教は呼吸器不全のため逝去されました(享年満82)。救急車で搬送された先の病院でのことでした。当時、高野主教はふるさと、埼玉県東松山市在住。通夜の祈りは23日、葬送式は翌24日、北関東教区の東松山聖ルカ教会で大西修大阪教区主教・桃山学院長(いづれも当時)による司式で行なわれ、説教は、それぞれ斎藤英樹司祭(北関東教区)、葬送式は広田勝一主教(同)でした。

かつて20年にわたり教区主教を務められた、元・桃山学院長、故・木川田一郎主教(昨2015年3月18日逝去／享年満89)の教区主教定年退職の期日が1995年3月末に迫りつつあった1994年、日本聖公会法規に従って大阪教区では次代主教選挙のため2度まで臨時教区会が開かれましたが、当選者を得られませんでした。そこで招集された日本聖公会の臨時総会で当教区主教に選出されたのが、当時、北関東教区におられた高野晃一司祭でした。

生活や働きにおいて馴染みきっておられたであろう北関東教区、また、自然や歴史や文化の面で高野主教ならではの深い親しみを抱いておられたに違いない関東の地を離れ、遣わされた地、大阪は、もちろん神戸も、その頃、経験したことのない被災のさ中。ちょうど21年前、1995年1月17日の阪神・淡路大震災による被害がまだまだ、目に

見えて生々しい頃でした。言わば、桃山学院が所在する、大阪教区を含む地域全体が自然災害による非常事態の中で7月、主教接手式・教区主教就任式が行なわれ、高野主教はその新たな働きを始められました。

大震災により主教座聖堂（川口基督教会）は礼拝堂が、特に塔を含め一部が倒壊して傾き、大きな被害を受けました。その他、大阪教区の幾つかの教会もさまざまに被災しました。そのため、按手式等は主教座聖堂では執行できず、プール学院（中高／大阪市生野区）の体育館で行なわれました。その日、式に臨んだ高野主教の胸には、主教座聖堂の被災現場で拾ったという古釘で組みなした十字架がかかっていました。遣わされた地における働きに対する高野主教の並々ならぬ決意を、その十字架は表わしていたのでしょう。大震災に直面し、大阪教区内外における有形・無形のいわゆる復興への取り組みが始まって後8年にわたり、2003年3月末の定年退職まで、高野主教は大阪教区主教を勤め、この間に、木川田主教退任のあとを受けて桃山学院長に就任し、その職責を果たされました。

阪神・淡路大震災が惹き起こされ、時を合わせて、高野主教が来阪し、大阪教区主教や桃山学院長としての職務を担うこととなった、その始まりの年1995年、日本聖公会は、当時130余年の歩みにおいて、自らの歴史を総括し、社会のただ中で働く教会共同体として、キリスト教（福音）宣教の新たな基本姿勢を内外に向け明確に表明しました。すなわち、同じ年の8月、清里の清泉寮（山梨県）において宣教協議会が開催され、その参加者たちにより「95宣教協議会宣言」が採択されたのです。そして、翌1996年5月、日本聖公会第49（定期）総会で、その宣言をベースにした「日本聖公会の戦争責任に関する宣言を決議する件」が可決されました。

その提案理由に「日本聖公会は1995年8月、清里清泉寮において、『日本聖公会の宣教―歴史への責任と21世紀への展望』を主題に宣教協議会を開催した。ここで採択された「95宣教協議会宣言」をうけて、本総会は日本聖公会の戦争責任、ことに総会が負うべき責任を痛感し、『日本聖公会の戦争責任に関する宣言』を決議する」と記され

ています。その宣言本文は、日本聖公会のホームページ等で閲覧することができます。

1995年日本聖公会宣教協議会の「宣言」と、それに基づく、翌96年日本聖公会総会の「決議」を受け、1997年10月に開催された大阪教区宣教協議会（於・大阪YMCA六甲研修センター）の実行委員会では、口角泡を飛ばしてぶつかり合う場面が幾度も見受けられました。また、2000年、教役者の勤務のあり方をめぐり教区会（司祭等の教役者議員と各教会から選ばれた信徒代議員により構成される決議機関）内外で継続的に激しい議論が交わされました。さらに、高野主教の定年退職を翌年3月にひかえた2002年、次代主教選挙のための臨時教区会（4月21日／投票回数20回）で当選者が得られなかったことを憂慮した相当数の人たちが、「可能な限りの意見交換と将来のあるべき姿について協議をする機会をもつことを願って」、その旨を目的とする臨時教区会の招集を請求しました。その結果、第2回選挙の臨時教区会（9月29日）に先立ちもう一つ、第87臨時教区会が9月15日に招集され、異例の内容、議事運営で開催されました。しかし、その後、第2回選挙の臨時教区会でも27回の投票を経てなお、当選者を得ることはできませんでした。このときもやはり日本聖公会の総会で選挙が行なわれた結果、先立つ別の総会で選ばれて大阪教区を離れ、当時すでに北関東教区主教であった宇野徹主教（後に、高野主教の後任としての桃山学院院长）があらためて選出され、当教区主教に就任されました。

穏やかで実直、あらゆる意味で「対決」を好まない、感じたままを言えばそんな印象の高野主教を思い浮かべると、太い黒縁の眼鏡をかけたその顔はいつも微笑んでいます。万葉集や良寛さん、津軽三味線、文楽、クマのプーさんからスコットランドやグレゴリアンチャント、バッハまで、夫人の春代さんによれば、好きなものいっぱいだった高野主教ですが、一番好きなものは？の問いに、「聖書だな」。そして、口癖は「イエスさまに会いに行くんだ」。掲げられた好きなものリストに敢えて加えるとすれば、往年の在英時代にパブでよく飲んだというギネスビールと（そう言えば、黙

想指導のときだったか、相当の時間をかけてケルト音楽について、実際に曲を聴きながら豊かなお話をされたこともありました)、もう一つ、在阪時代にお気に入りだった、通天閣のふもとに広がる新世界のジャンジャン横丁でしょうか。

昨年2月11日に主教座聖堂で行なわれた高野晃一主教逝去記念聖餐式には、当教区の現職・退職教役者ほぼ全員が式服を着用してプロセッションに加わり、100名余が参列しました。遺族として遠路はるばる、ご家族とともに参列し、式後に語られた春代さんのお話は、大阪での8年間をも包み込み、高野晃一主教の全体像を、死別の寂しさの中にあっても微笑ましく、感謝をもって浮かび上がらせるものでした。

定年退職後、かつて滞在していた英国にご夫妻で渡り、ちょうど10年間、高野主教は立教英国学院でチャブレンとして働かれました。その後、帰国。そして、2013年の秋、プール学院(中高)メアリーズホールで行なわれた大阪教区成立90周年記念礼拝では聖職団のプロセッションに加わり、元氣な姿で参列されました。

7年後、2023年、大阪教区は成立100周年を迎えます。3年前、90周年を特に記念したのは、無論そのこと自体の意味の重要性もさることながら、100周年を迎える準備を10年かけて、つまり、地に足つけてしっかりやりやう、との気持ちの表明でもありました。教区(教会)にしる、学校にしる、そして、社会や国家にしる、共同体に連なる一人ひとりの人物像や生きざまを、そして、一つひとつの出来事を、すなわちその共同体の、絶え間ない時の流れとしての歴史を、まずはできる限りありのまま、まっすぐ見つけ、分かち合う営みを続けていく必要を感じます。死別は悲しく寂しいものですが、故人を偲ぶことは、その人の属した共同体、言い換えればこの場合、大阪教区や桃山学院、ひいては私たちの日本社会そのものを見つめ直すことにつながるのだと信じます。

ちなみに、その2023年、桃山学院は創立139年です。その歴史は今年、20世紀まるごと、前後する19世紀と21世紀それぞれちょうど16年ずつを経た、一つの節目の年を迎えています。

北関東から大阪の地に遣わされ、大阪教区主教であり、桃山学院長を務められた高野晃一主教の魂の平安と、春代さんをはじめとするご遺族の日々への豊かな祝福を、あらためてお祈りいたします。

(拙文は、日本聖公会大阪教区連合男子会報最新第37号に掲載された原稿を部分的に書き改めたものです。)

(日本聖公会大阪教区司祭)

〔略歴〕

- 一九三二年八月七日 埼玉県にて生まれる
- 一九五八年三月 立教大学文学部英米文学科卒業
- 一九六一年三月 聖公会神学院卒業
- 四月 教区(志木)学生センター(現・志木聖母教会)チャプレン、大宮聖愛教会副牧師
- 一九六二年 執事按手
- 一九六四年 司祭按手
- 一九六六年七月 英国の聖オーガスティン・カレッジ卒業
- 九月 日立聖アンデレ教会牧師
- 一九六七年三月 日立二葉幼稚園長
- 一九七二年三月 東松山聖ルカ幼稚園長
- 四月 東松山聖ルカ教会牧師
- 一九七六年四月 英国聖公会ダム教区の産業伝道計画に参画

一九七八年四月

東松山聖ルカ教会牧師、熊谷聖パウロ教会・佐野聖公会・毛呂山聖霊教会管理牧師

一九八〇年四月

佐野聖アグネス幼稚園長

一九八三年一月

毛呂山愛任幼稚園長

一九八四年四月

前橋聖マツテア教会牧師

一九八五年一月

新町聖公会幼稚園長

一九九五年七月

日本聖公会大阪教区主教、プール学院理事

二〇〇〇年五月

桃山学院学院長

二〇〇三年四月

立教英国学院チャプレンとして渡英

二〇一三年

帰国

二〇一五年一月二〇日

呼吸器不全のため逝去



卒業アルバム（2003）より
※桃山学院高校



高野晃一師による画
※口絵にカラーあり